

養育園の持つ機能（定員枠40名分）の再整備について

1 現施設の概要

竣工	平成10年11月1日
構造・階層	鉄筋コンクリート造、地上2階地下1階
延床面積	3,382.53 m ²
居室の状況	4寮(5ユニット) 居室40室、短期入所用居室4室
施設設備の状況	厨房なし、給食は更生園地下の厨房で調理し運搬。 電気、水道、電話・ネット等通信設備は、更生園設備から供給。
その他建物	第5寮(さくら荘) 8室 180.85 m ²

2 第4回検討会議での主な意見

【施設等の整備】

事件が起こった施設の中で、子供たちが暮らすことがメンタルなところを考えると、とてもつらいところ。できれば全面改築をした方が望ましい。

今の建物の中で、80名の生活スペースを40名で暮らすということの方がすごく違和感がある。

小規模化のメリット、家庭的養育をしていくには何を大事にするのかがまず先にあって、それを実践するためにはどういう建物にしたらいいのかと、まずは考え方ありきで、建物をそれに合わせるためにどう作っていくのかという風に考えた方が、子供たちの暮らしとしてはいいと思う。

【運営主体】

セーフティーネットという部分では民間施設でも可能な状態となってきているし、今のこの状況の中では県立と民間も変わりがないのではないかと。

支援困難な児童を養育園にいろいろお願いしてきた事実、その結果こういう事件が起きたということ、この反省点を踏まえ、養育園に大変な方を入所させていくということは、むしろ無くした方がいい。

3 論点

- 現建物の改修か建替えか。
- どのような施設とすべきか(共生社会の理念に沿った場所、箇所数、家庭的な雰囲気、ユニット化、小規模化)
- 県立施設として運営すべきか、民間施設として運営すべきか。
- 施設等整備や支援員等追加配置に係る公的支援